



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

# 下妻市大会報告書

## 本大会

# 総合開会式



【期日】 令和元年9月28日(土)

【会場】 笠松運動公園陸上競技場

1974年以来45年ぶりの茨城県開催となった第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」は、9月28日(土)、笠松運動公園陸上競技場にて行われた総合開会式でスタートしました。令和最初の国体御臨席となる天皇皇后両陛下をお迎えし、航空自衛隊ブルーインパルス of 祝賀飛行や、伝統芸能、スポーツ・文化活動等で活躍する団体によるプログラムが披露された後、各都道府県選手団が入場。満員の観客席からの大歓声に包まれる中、茨城県選手団も、旗手を務めるクレイ射撃の中山由起枝さんを先頭に入場しました。

その後、大井川和彦県知事による開会宣言がなされると、44市町村から集まった炬火が炬火台に点火され、声高らかに選手宣誓が行われました。



天皇杯返還



選手代表宣誓



炬火点火





応援席



茨城県選手団入場



天皇皇后両陛下



日本フォークダンス連盟茨城支部によるフォークダンス



茨城県薦・土木工業会による梯子乗り



水戸市立第三中学校による詩舞



県内小学生によるラジオ体操



会場を盛り上げた渡辺裕之さん、マシコタツロウさん、磯山純さん、城之内早苗さん



総勢1,670名によるイメージソング「そして未来へ」のダンス披露



## デモンストレーションスポーツ Eボート



小学生の部決勝

【期日】 令和元年 5 月19日(日)      【会場】 鬼怒川大形橋上流左岸

天候にも恵まれ、同時開催の文化プログラム事業「第28回花とふれあいまつり」も盛大に開催される中、「一般の部」「小学生の部」計40チームが鬼怒川の雄大な流れの中を疾走しました。会場で交流(exchange)したみなさんには笑顔があふれ、いきいき茨城ゆめ国体の幕開けにふさわしい素敵な競技会になりました。



たくさんの来場者でにぎわう会場



白熱したレース



青空の下行われた選手宣誓





河川護岸工事の中、設営された会場



大形小学校は選手でもスタッフでも大活躍



老若男女問わず楽しめる(enjoy)Eポート



一般の部決勝



鬼怒フラワーラインに彩られる会場



## 正式競技 ソフトボール（少年男子・少年女子）



9月29日(日)から10月1日(火)までの3日間、ソフトボール少年男子・少年女子の2種別が開催されました。少年男子は高知県、少年女子は長崎県が優勝。茨城代表は男女とも5位入賞という成績を収めました。全国トップレベルの選手たちのスピード感と迫力溢れるプレーに詰めかけた観客は大いに沸きました。

### 少年男子

【期日】 令和元年9月29日(日)～10月1日(火)

【会場】 砂沼広域公園野球場・柳原球場

ソフトボール少年男子は、天候にも恵まれ3日間の激戦の末、高知県が9年ぶり11回目の優勝を収めました。茨城県は初戦(対新潟県)、打線がつながり8－1で逆転コールド勝ち。続く準々決勝(対宮城県)は中盤まで1点を争う展開も、終盤に突き放され2対6で敗退し、5位入賞となりました。



地元下妻二高単独で結成された茨城男子チーム







第1位 高知県



第2位 長崎県





## 少年女子

【期日】 令和元年 9月29日(日)～10月1日(火)

【会場】 千代川運動公園野球場・千代川中学校グラウンド

ソフトボール少年女子は、長崎県が2年ぶり3回目の優勝を収め、茨城県は1回戦がシード、準々決勝で2位入賞となった強豪福井県と対戦。投手が好投するも、1点が遠く0対4で敗退し、5位入賞となりました。



準優勝チーム相手に健闘した茨城女子チーム







第1位 長崎県



第2位 福岡県

## お成り



桐子女王殿下をお迎えする生徒たち



競技会場へ向かう桐子女王殿下



競技を御覧になる桐子女王殿下



## ソフトボール教室



大会1日目(9月29日)の試合終了後、宇津木妙子さん(元女子ソフトボール日本代表監督)らを講師に迎え、千代川運動公園野球場にてソフトボール教室を開催しました。市内・近隣の中学校女子ソフトボール部員約100名が参加し、熱心に取り組んでいました。



真剣な眼差しで指導を受ける参加者



熱心に指導する宇津木さん





## 競技役員・競技補助員



中央競技団体や近県及び県内競技役員、市内の高校生など延べ約600人が、審判員や記録員、会場整備、競技・式典運営など様々な業務に従事しました。たくさんのスタッフの努力と支えにより、大会は成功のうちに終了しました。

### 競技役員



球場本部



式典（表彰式）



競技会場整備

### 競技補助員





# 学校観戦・地域応援

各会場において市内小中学校の児童生徒による学校観戦、青少年を育てる下妻市民の会各支部による地域応援(国体盛上げ応援団)が実施され、下妻市民の温かい応援が、連日繰り上げられる熱戦を後押ししました。

## 学校観戦



市内全小中学校がソフトボール競技を観戦  
大きな声でエールを送りました



白球の行方に一喜一憂



下妻一高為櫻応援団が茨城県代表を応援



## 地域応援 ～国体盛上げ応援団～



市民の会各支部(全10支部)で応援団を結成



応援団で地域の絆も深まりました



全国から多くの来場者が訪れました



チームメイトによる応援



# 大会ボランティア

大会運営を支え、全国から訪れる選手や観客の方々を温かくおもてなしするためのボランティアとして、多くの市民の皆さまに参加していただきました。当日はおもてなし研修会で学んだ「お客様を温かく迎えるおもてなしの心」で、たくさんのボランティアの方が大会を支えてくれました。

## おもてなし研修会



お互いに笑顔を練習しあう参加者たち



講師 齋藤由紀子氏



## 広報活動



いばラッキー手作り缶バッジ



国体PRブースは子供たちに大人気



フェイスペイントで国体PR





## 大会運営



多くの来場者で大忙し



ガイドブックで観光案内



ペットボトル仕分け作業



JOA日本語学院による環境美化ボランティア

会場飾花の水やり



## おもてなし



## ふるまい

各会場にはおもてなしブースが設置され、ふるまいコーナーの下妻産の梨をはじめ、梨ゼリー・梨のフィナンシェ・ポークジャーキー・無料ドリンクがふるまわれました。下妻市に来てよかったと思っただけのよう、係員・ボランティアが一体となって心からのおもてなしを行いました。

また、売店では国体の記念にと、国体グッズや特産品を購入する来場者でにぎわいました。



大好評だったふるまいコーナー



梨のフィナンシェ配布



休憩所でふるまいの梨を食べる観覧者たち



## ドリンクサービス



## 売店





# 総合閉会式



【期日】 令和元年10月8日(火)

【会場】 笠松運動公園陸上競技場

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の総合閉会式が、令和元年10月8日(火)、眞子内親王殿下ご臨席のもと笠松運動公園陸上競技場にて行われ、11日間の熱い戦いが幕を閉じました。茨城県は男女総合成績2,569点、女子総合成績1,331点で、ともに1位となり、天皇杯(男女総合)・皇后杯(女子総合)を獲得しました。また、選手たちの熱戦を見守り続けた炬火が納火され、国体旗が次年度開催の鹿児島県三反園訓知事へ手渡されると、閉会が宣言されました。

熱戦を繰り広げた選手たちには感動やねぎらいの言葉がかけられ、惜しみない声援と拍手が送られました。



筑波山ガマロ上保存会



いばらき舞祭ネットワーク



国体ハイライト上映



天皇杯を獲得した茨城県



眞子内親王殿下より皇后杯授与



鹿児島県へ引き継がれる国体旗



全国の選手をお見送り